

令和2年8月31日

大学評価・IRに携わるみなさまへ

大学評価・IR 担当者集会 2020 について

大学評価コンソーシアム

大学評価・IR 担当者集会は、今年で14回目となります。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催とさせていただきます。また、例年2日間もしくは3日間で集中的に開催しましたが、今回は9月から11月にかけて、短時間（通常60～90分）コンテンツを分散して開催する形態により開催いたします。

全体総括となるメインセッション「コロナ時代における評価・IR活動の課題と今後の展望」は、9月23日に開催します。

さらに、大学評価（現状把握）を組織的、継続的な改善に活かすための実践的手法を考える「大学評価・質保証セッション」、初めて大学評価業務を担当する方に基本的な考え方を講習する「評価初心者セッション」、IR業務を担当して概ね1年未満の方向けにIRの基本的な考え方と実践事例を学ぶ「IR初級セッション」、IR実務を担当する方向けに事例を共有し踏み込んだ質疑応答を行う「IR実務担当者セッション」の4つのセッションを用意しています。

なお総会および情報誌に関するご案内を別紙として掲載しておりますので、併せてご覧ください。

1. 主催者・共催者

- ・ 各セッションの共通した主催者は大学評価コンソーシアムとなりますが、セッションごとにさまざまな機関と連携体制を組んでいます。
- ・ 共同主催機関や共催機関については、それぞれのセッションの詳細なお知らせの中で、ご案内させていただきます。

2. 日時

令和2年9月～11月（メインセッションは9月23日（水）13時00分から開催します）

3. 会場

オンライン開催となります。セッションごとに使用するプラットフォーム（Zoom ウェビナー、Teams などのウェブ会議システム）が異なります。

4. 対象と参加費

- ・ 大学において、大学評価やIR等の現状把握、現状分析に関連する業務に携わっている方、あるいはこれまでに携わった経験を有する方、関係機関等に所属される方、関連する民間企業等の方を対象とします。
- ・ 大学における評価部署、IR部署や企画部署での勤務経験は問いません。学務系、総務系等のセクションの職員、学部やセンターの教員、技術職員、URA等の専門職、大学以外の機関所

属であっても大学評価やIR等の現状把握を通じた大学の諸改善に興味をお持ちの方であれば参加いただけます。

- 参加費は、共同主催もしくは共催いただく大学のご配慮により徴収しません。また、原則的に資料はオンライン配布となります。

5. セッション構成

大学評価・IR担当者集会は、相互交流、相互学習、情報共有をキーワードに開催してきましたが、今回は、どちらかというオンラインの特性を考慮し、講義型が多めとなります。一部セッションでは、グループワーク等も行います。

日程	時間帯	開催セッション
9月7日(月)～18日(金) 調整中 **	オンデマンド形式	[E2-1] 評価初心者セッション【講義編：オンデマンド】
9月8日(火)	10:00-11:00	[E1-1] 大学評価・内部質保証実務セッション 【事例セミナー1：国立大学編(山形大学)】
9月14日(月)	10:00-11:00	[E1-2] 大学評価・内部質保証実務セッション 【事例セミナー2：私立大学編(法政大学)】
9月23日(水)	13:00-14:30	[M] メインセッション 「コロナ時代における評価・IR活動の課題と今後の展望」
9月24日(木)	第1部 13:00-14:45 第2部 14:55-15:00 *** 15:00-16:15 *	[R1] IR初級セッション
9月30日(水)	10:00-11:30	[E2-2] 評価初心者セッション【実践編：Q&A】
10月中に開催16日(金)**	未定-10:00-11:30**	[E1-3] 大学評価・内部質保証実務セッション 【グループ討議】
11月5日(木)	13:30-15:30	[R2] IR実務担当者セッション

*R2.8.21 18:51 修正 **R2.8.25 16:26 修正 ***R2.8.31 15:25 修正

6. 各セッションの概要と申し込み方法

以下に概要を示します。詳細につきましては、大学評価コンソーシアム web サイトおよびメーリングリストでご案内いたします。申し込み方法なども各セッションのご案内をご覧ください。

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php?page=acc2020t>

M メインセッション「コロナ時代における評価・IR活動の課題と今後の展望」
COVID-19(コロナウィルス)の感染拡大において、大学ではさまざまな対応を迫られている状況です。そこで、このセッションでは、大学評価やIRの業務がどのように影響を受けたのか、そしてどのような課題が生じているのかという点について、アンケートを実施しその結果を広く共有しながら、今後の活動を展望していきます。
開催日時と内容
9月23日(水) 13:00～14:30
・ ご挨拶、開催趣旨、セッションの構成を説明

<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における評価・IR 業務への影響と課題について事前アンケートを行いその結果を報告する ・ その後チャット機能を使って、参加者から質問・コメントを受け付け、質疑応答 ・ Zoom ウェビナーを使用予定です。
申し込み方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州大学次世代型大学教育開発センターの受付システムからお申し込みいただきます。 ・ 申込期間につきましては、決定次第、連絡させていただきます。* ・ 申込締切：9月14日（月）13：00 （可能な限りお申込みを受け付けますが、申込状況に応じてメ切を早める場合がございますので、ご了承ください） ・ **R2.8.31 15:26 加筆・修正
スタッフ
浅野茂（山形大）、○小湊卓夫（九州大）、関隆宏（新潟大）、田中秀典（宮崎大）、土橋慶章（神戸大）、藤原宏司（山形大）、山本鉦（九工大）、山本幸一（明治大）

E1 大学評価・質保証セッション
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、Teaching から Learning へと視点が変化しているが、近年、さらにそれをどのように Manage しているのか、という点も重要になっています。 ・ そのような教学マネジメント体制の構築は内部質保証体制にほかならず、我が国においては、エンrollment・マネジメントもかなり近接した取り組みとなっています。 ・ このような中で、大学機関別認証評価を手がかりに、大学評価と質保証の実践について考えていきます。実際に、第3サイクルの機関別認証評価を受審した大学の事例（受審時の課題、どのように改善につなげたのか等）を通し、認証評価にパスするためではなく、本質的な教育改善を図るための考え方を持ち帰ってもらえれば、と思います。 ・ 9月から10月にかけてオンライン開催（ライブ形式・60～90分）としますが、2回はセミナー、1回はグループワークとなります。
開催日時と内容
E1-1 9月8日（火）10：00－11：00 評価・質保証実践事例セミナー1（国立大学編）
E1-2 9月14日（月）10：00－11：00 評価・質保証実践事例セミナー2（私立大学編）
E1-3 10月 開催予定 16日（金） 90分程度 10：00－11：30* 大学評価と質保証に関する実践事例勉強会（グループ討議）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立大学は山形大学さん、私立大学は法政大学さんに報告をお願いしています。 ・ 事前に指定する資料をご覧ください、一定程度の基礎知識がある状況を前提に当日は講演していただきます。 ・ 山形大学保有の Zoom ライセンスを利用します。
参加方法（申し込み方法）・定員
<ul style="list-style-type: none"> ・ E1-1 および E1-2 の定員は概ね 30 名です。質疑応答の時間を多めに取り、なるべく参加者すべての方のご質問にお応えしつつ、議論するために上限を少なめに設定しております。

<p>(録画したものの配信、陪席参加はありません)。E1-3 も概ね 30 名の予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セットで申し込む必要はありません。ご興味のある回のみご参加いただけます。 ・ 以下の申し込み期間中に*、大学評価コンソーシアムの web サイトからお申し込みいただき—ください*。後日、接続用の URL をお知らせします。 <p>[E1-1] 9月1日(火) 13:00～9月4日(金) 13:00*</p> <p>[E1-2] 9月8日(火) 13:00～9月11日(金) 13:00*</p> <p>[E1-3] 10月6日(火) 13:00～10月9日(金) 13:00*</p>
スタッフ
<p>浅野茂(山形大)、大野賢一(鳥取大)、佐藤仁(福岡大)、○鳶田敏行(茨城大)、末次剛健志(有明高専)、関隆宏(新潟大)、土橋慶章(神戸大)、藤井都百(九州大)、藤原将人(APU)、山本幸一(明治大)</p>

*R2.8.25 16:26 修正

E2 評価初心者セッション
<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価担当者として「評価とは何か」について基本的事項を理解するための講義と演習を行います。想定する参加者は、評価の実務経験がほとんど無い方(概ね1年未満)です。(評価初任者研修として、毎年ほぼ同じ内容を扱いますので、過去にこのセッションに参加したことがある方はご遠慮ください。)
開催日時と内容
<p>9月中にオンライン開催(オンデマンド+ライブ形式)</p> <p>E2-1 [講義編]: 9月7日(月)～18日(金)の間に、合計90分程度のオンデマンド教材を事前学修し、ワークシート(自らの課題、疑問点など)を作成いただきます。</p> <p>E2-2 [実践編]: 9月30日(水) 10:00～11:30(最大延長12:00)</p> <p>ワークシートの内容に関して、参加者4名+ファシリテーター(E1スタッフ)2名によるグループ討議を中心に、Zoomを用いたライブ形式で課題の解決、理解の深化を目指します。</p>
申し込み方法・定員
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義編と実践編をセットで申し込みとなりますので、実践編(9月30日)に参加できる方のみお申し込みください。また、受付開始から3日間24時間*は1大学1名のお申し込みとさせていただきます←予定でずきます。 <p>参加受付期間: 9月1日(火) 13:00～4日(金) 13:00*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定員は20名となります(状況によっては、10月以降に開催するかもしれません)。
スタッフ
<p>講義編: ○関隆宏(新潟大)、土橋慶章(神戸大)</p> <p>実践編: 講義編スタッフに加え、E1のスタッフ等もファシリテーターとして参加します。</p>

*R2.8.25 16:26 修正

R1 IR 初級セッション
<p>IR 担当者には、データ分析を行うだけでなく、依頼者の問いに応じてその結果を分かりやすく</p>

- 示すとともに、意思決定に繋がるような情報提供（レポート）が求められます。
- ・本セッションでは、IR 担当者（初級）がデータ分析や活用を行う際の注意点や課題、具体的な方法等について、講義や演習を通じて学んでいきます。
 - ・本セッションの対象者は、IR 業務の経験が概ね一年未満程度の方とし、第 1 部で IR 業務に必要な考え方やデータマネジメントの基本を講義します。第 2 部においては参加者が抱える課題について持ち寄り、グループワークを通じてその解決策を検討して頂きます。経験が豊富なファシリテーターが必ず 1 名つきまますので、安心して意見交換が進められます。
 - ・第 2 部の参加者は第 1 部の受講は必須となります。
 - ・なお、九州大学次世代型大学教育開発拠点や大学評価コンソーシアムがこれまで開催してきた IR 初級人材育成研修と講習内容は一部、重複しますのでご注意ください。

開催日時と内容

9 月 24 日（木）

R1-1 第 1 部 IR 概論編 13:00～~~13:45~~14:45*

R1-2 第 2 部 IR 演習編 ~~14:55~~15:00～~~16:00~~16:15*

zoom ウェビナーを使用します。

申し込み方法・定員

- ・九州大学次世代型大学教育開発センターの受付システムからお申し込みいただきます。
- ・~~申込期間につきましては、決定次第、連絡させていただきます。*~~
- ・申込締切：9 月 14 日（月）13：00
（可能な限りお申込みを受け付けますが、申込状況に応じて〆切を早める場合がございますので、ご了承ください）
- ・**R2.8.31 15:26 加筆・修正
- ・定員は、第 1 部（定員 90 名）と第 2 部（定員 30 名）となり、それぞれお申し込みいただくこととなります。なお第 2 部の参加者は必ず第 1 部も申し込んでください。

スタッフ

浅野茂（山形大）、○小湊卓夫（九州大）、佐藤仁（福岡大）、田中康大（神戸大）、橋本智也（大阪市立大）、藤原宏司（山形大）、山本鉦（九工大）、山本幸一（明治大）ほか

* R2.8.21 18:52 修正

R2 IR 実務担当者セッション

- ・本セッションは、IR や評価など高等教育機関における現状把握・現状分析に携わる実務担当者が集い、事例紹介と議論を通じて評価および IR における実践知の整理と体系化を図ることをねらいとして、大学評価コンソーシアムが平成 26 年度から実施している勉強会「IR 実務担当者連絡会」の一環として計画させていただきました。
- ・今回は、初めてのオンライン開催となりますが、ぜひ会員の皆様から IR や評価の現場における事例や課題をご報告いただき、当日、オンライン参加いただく皆様がご自身の大学で取り組むためのヒントを得ていただくとともに、IR や評価の知見の共有を図るセッションとして位置づけております。

開催日時と内容
<p>2020年11月5日(木) 13:30~15:30</p> <p>Zoom ウェビナーを使用します。</p> <p>なお、同時接続できる人数に制限があるため、本セッションの定員は90名とさせていただきます。</p>
申し込み方法
<p>【発表希望の方】</p> <p>以下の項目をメール (acc2020@ml.ibaraki.ac.jp) に記載のうえ、10月21日(水) 15時までにお申し込み下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告タイトル ・報告者名および所属 ・発表概要 (200字程度で簡単にご紹介ください) ・報告希望時間 (15分から30分の間でお知らせください) <p>なお、11月2日(月)までに、公開可能なスライドをご提供ください。過去の報告と同様にウェブ上にアップし、オンライン配布いたしますので、秘匿する必要がある内容につきましては、適宜マスキング処理をお願いします。</p> <p>【参加希望の方】</p> <p>大学評価コンソーシアムの会員専用サイトから、10月26日(月) 13時 ~ 11月2日(月) 17時までにお申し込み下さい。</p> <p>http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php?page=member</p> <p>※会員でない方は、大学評価コンソーシアム [会費無料] への会員登録を行ってからお申し込みください。本コンソーシアムは、個人単位での入会が可能です。</p>
スタッフ
<p>○浅野茂 (山形大)、岡部康成 (帯広畜産大)、佐藤仁 (福岡大)、田中秀典 (宮崎大)、橋本智也 (大阪市立大)、藤原宏司 (山形大)、山本幸一 (明治大)、山本鉦 (九州工業大)</p>

7. 注意事項

- ・録画、録音はご遠慮ください。(なお、主催者が記録用に録画・録音を行う場合がありますので、あらかじめご承知おきください。)
- ・原則的に、連絡事項は、会員向けメーリングリストを用いて行います。(会員登録なしでも参加できるセッションもあります。その場合、大学評価コンソーシアムからではなく共同主催機関、共催機関からのご案内があります。)

8. 大学評価コンソーシアムのwebサイトについて

昨年度までの様子、成果(報告書)については、こちらのサイトにお進みください。また、会員登録については、メニュー左下の「会員専用」のところからお進みください。(2019年度分については現在、調整を行っているページがあります。)

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php>

問い合わせ先

内容等のお問い合わせにつきましては、各セッションの担当者（○印がチーフ担当者）にお願いします。以下の運営スタッフ用メーリングリストをお願いします。

acc2020@ml.ibaraki.ac.jp

[M] メインセッション および [R1] IR 初級セッション につきましては、以下のお問い合わせ先でも直接対応可能です。

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

Tel : 092-802-6070

※コロナウイルスの影響下、電話でのお問い合わせには対応できない場合がございます。

お手数ですが、E-mail でのお問い合わせをお願いいたします。

E-mail : kyoten★artsci.kyushu-u.ac.jp (★を@に置き換えて下さい。)

(タイトルに【9/23/24IR 研修会】と記載して頂けると幸いです。)

~~8月下旬から利用可能となります。~~(註：運用中) ご質問等を送付しても反応がない場合、運営庶務担当まで、ご連絡ください。

[問い合わせ先] 茨城大学 全学教育機構 畷田 敏行

toshiyuki.shimada.ir@vc.ibaraki.ac.jp

令和 2 年 9 月 15 日

大学評価コンソーシアム会員各位

大学評価コンソーシアム
(九州大学 基幹教育院)
代表幹事 小 湊 卓 夫

総会の開催と幹事等の再任について

今回の大学評価コンソーシアム総会につきましては、例年同様、事前に資料をお送りし、一定の期間中（1 週間）にご意見をいただく形にさせていただきます。

大学評価コンソーシアムの幹事等の任期は 2 年となっており、今年度の大学評価・IR 担当者集会の日（主要日は 9 月 23 日）で任期が切れます。

本来でしたら、大学評価コンソーシアム会則第 13 条にもとづき「次期幹事選定会議」を開催し、候補者を選定の上、みなさんにお諮りする手順となっています。

(幹事候補者等の選任)

第 13 条 次期幹事候補者、次期代表幹事候補者および次期監査人候補者は、幹事会のもとに次期幹事選定会議を設置し、当該会議で候補者を選定する。

2 次期幹事選定会議は 10 名以内とし、半数は現在、幹事である者から、残り半数は幹事ではない者から代表幹事が任命し構成する。

この会議につきましては、例年、担当者集会の準備会の際に、開催校のスタッフの方に「幹事ではない者」として参画いただき開催してきました。今年度の大学評価・IR 担当者集会はオンライン開催となり、開催校がなく、準備会もオンラインで実施したため、「次期幹事選定会議」を開催することが困難な状況となってしまいました。

現在、幹事等も対面での議論、打ち合わせができず、オンラインでのみで協議を進めております。このような状況がすぐに解消される見込みが立たないことから、幹事等の運営スタッフにつきましては、現行のメンバーでひきつづき活動を進めたいと考えております。

従いまして、今回の幹事等の運営スタッフの選定につきましては、「次期幹事選定会議」を開催せずに、総会で直接ご審議いただくことにさせていただきます。

投稿の受付を再開します

情報誌「大学評価とIR」

査読ループリックと査読プロセスについて令和2年9月1日から改正し、投稿の受付を再開します。

○ 査読用ループリック（事例報告）の修正について

- ・ 事例報告については、投稿いただいている原稿の内容等を踏まえ、項目と基準を修正しました。
- ・ 論理的に破綻していなければ原則的に掲載するという方針を再確認し、ガイドラインについても見直しました。
- ・ 区分、論説については、当面の間、引き続き受付を休止します。

査読の基準	査読の観点
① 課題を明確に捉えているか	○ 報告のテーマが明確に示されているか。*
② 利用可能性・応用可能性の高い情報提供となっているか	○ 組織の記述、手法の記述、ツールの記述等に際して、読者が参考にし得る具体的な情報が記述されているか。
	○ 図表などを用いて、具体的な説明に心がけているか。
③ 気づきや示唆が一定程度示されているか	○ 高度な専門的知識がなくとも理解できそうな内容になっているか。
	○ 本報告の意味について投稿者から読者へのメッセージが必要に応じて示されているか。
④ 記述に論理的な矛盾がなく、事務系職員や教員が読みやすいものになっているか	○ 文章の上手い、下手ではなく、話の流れがあり、平易で簡潔な言葉で説明がなされているか。
	○ （文中に文献、資料、webサイトを掲出した場合）出所を明らかにしているか

※ 基準「①課題を明確に捉えているか」については、以下の2点を推奨事項とするが、このような記載が無くとも査読には影響しない。

- 著者らが自大学の取組事例を報告する場合は、その取組開始に至った動機も含めて記載があるとよい。
- 著者らが調査した複数大学の事例を報告する場合は、その調査を立案するに至った著者らの動機も含めて記載があるとよい。必要に応じて、先行事例についても簡潔に触れるとなおよい。

○ 査読プロセスの改正のポイント

- ・ 「読みやすさチェック」については、投稿者が希望した場合を除き、誤字脱字等のチェックにとどめます。
- ・ これは、これまでの査読や校閲作業において、「読みやすさチェック」の担当者依存性が高く、いわゆるレトリックへの修正示唆までは適当ではないだろう、という判断からです。

詳細はwebサイト等をご覧ください。

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php?page=lib>